

|  |  |      |       |
|--|--|------|-------|
| クラス  | Q312   | 担当教員 | 吉野 真紀 |
| テーマ  | 医療における心理臨床的アプローチ、心理アセスメント  |      |       |
| 著書・論文<br>研究課題等   | <p>【著書】『現代のエスプリ別冊 投影法の現在 ジェンダー問題と投影法』分担執筆 至文堂 2008年</p> <p>【論文】『ロールシャッハテストからみた性同一性障害 日本人一般成人との比較』共著 心理臨床学研究第26巻第1号 2008年</p> <p>『性同一性障害の支援において臨床心理士・精神保健福祉士が果たす役割』共著 最新精神医学第17巻第2号 2012年</p> <p>『児童思春期の神経症患者における短期心理療法～期間・回数限定セッションの試み～』共著 (財)メンタルヘルス岡本記念財団研究助成報告集第23号 2012年 など</p> <p>【研究課題】性同一性障害当事者の心理的特性と自己実現過程、性別違和のある成人および児童生徒への支援、心理検査を用いた臨床心理学的研究、など</p> |      |       |
| <b>ゼミナール概要</b>   |  |      |       |
| キーワード：病院臨床、心理アセスメント、精神障害、心理療法、臨床心理学  |  |      |       |
| <p><b>はじめに：</b></p> <p>担当教員は、大学病院精神神経科にて様々な精神疾患に対する心理アセスメント・心理療法・他職種連携に従事してきました。統合失調症、気分障害、人格障害、発達障害、適応障害など、児童思春期から老年期に至るまで幅広いクライアントに出会う中で、クライアントが悩みや生きにくさを抱え、それと付き合いながらどう自分らしく豊かに生きていくか、ということを支援の軸に考えてきました。また性同一性障害の包括的医療チームの一員として、性別違和のある方々への支援にも携わっています。</p> <p><b>目的、内容、方法：</b></p> <p>精神障害や心理的諸問題についての知識を深め多面的な見方を検討し、臨床心理学的な視点から理解・支援する力をつけてほしいと考えています。そのひとつの方法としての心理アセスメント（投影法）や、興味関心のあるテーマについて文献や事例を通して学びます。他者支援に必要な素地として、自己を知ることも体験的に学んでもらいたいと思います。</p> <p><b>授業計画：</b></p> <p>3年次には、文献や関連論文の抄読会やディスカッションを通して基礎知識を習得します。頭で理解するだけでなく、自分自身や身近な人とのかかわりや体験と照らし合わせながら考えることが大切です。自分自身を知ることと他者（仲間）を知ること、体験ワークやグループワークを通して進めます。後期には、卒業論文作成に向けて、各自興味関心のあるテーマを研究課題として絞っていきます。</p> <p>4年次には、それぞれのテーマに沿って個人研究を進めます。関連論文を積極的に読み込みながら論文の書き方を勉強し、ゼミでの報告を重ね、卒業論文の執筆を行います。</p> |  |      |       |
| <b>担当教員からのメッセージ</b>  |  |      |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ゼミでは、卒業研究テーマに取り組むことはもちろん共通の目的ですが、「自分自身を知ること」「他者・仲間を知ること」「関係性を知ること」を通して、人を知る臨床心理学の醍醐味を味わって下さい。</li> <li>◆ 医療における心理臨床的アプローチを主なテーマに挙げていますが、教育や産業などの領域やその他にも広がりをもつテーマであると考えています。学びの過程で興味関心をもったテーマを追求し、主体的に取り組むことを応援します。</li> <li>◆ 自分のこととして能動的にゼミに参加し自分を表現すること、仲間の表現を尊重しメッセージに耳を傾けること、を期待します。楽しく交流しながら研究を進められるようにともに頑張りましょう。</li> </ul>   |  |      |       |